

農業後継者育成基金事業

平成25年度農業青年グループ育成事業（地域青年農業者等グループ助成）

事業主体名 GFTグループ（薩摩川内市）

1 目的

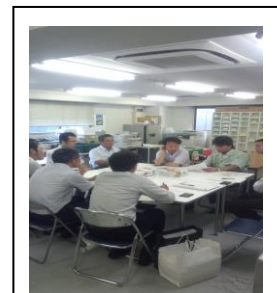
きんかんの減酸に関する調査ほ場の設置やクエン酸含量値に対する食味確認等を行い、更なる高品質果実生産に向けた取組を行うとともに、消費ニーズについての調査を今後の産地を担う当グループ会員による調査を実施し、きんかん専門部会との連携によるマーケティングの充実や各種イベントなどでのPR活動の充実を図る。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

（1）消費地（東京）でのマーケティング調査の実施

活動内容，効果

- ・実施期日：平成25年8月29日～30日
- ・調査先：バイヤー・中卸4社、取引市場6社
- ・参加者：1名 ※他経費活用による参加者計6名



本市きんかんの主要消費地である東京へ、マーケティングに特化した調査を実施し、効果的なPR活動や販促資材の検討、新規出荷規格の必要性の有無など、市場関係者やバイヤーなどとの意見交換・聴取を実施するとともに、聴取内容については当グループで整理し、JA北さつまきんかん専門部会への報告や打診、実践を行い、今後の本市きんかんの更なる産地を図った。

（2）クエン酸測定器の導入及び調査ほ場の設置の実施

活動内容，効果

- ・設置ほ場 4ヵ所
- ・試験の内容
 - ・時期別のクエン酸及び糖度の推移
 - ・土壌水分によるクエン酸及び糖度の比較
 - ・地目によるクエン酸及び糖度の比較
 - ・マルチ設置有無によるクエン酸及び糖度の比較 など



食味、糖度、食感（す上がり度）など総合的に判断した場合、土壌水分を常に保つことが可能なマルチ栽培では高品質果実の生産の可能性が示唆された。ただし、この調査については次年度以降も継続して実施していく必要があると考えられた。

3 今後の課題，取り組み

本市きんかんの若手農業青年で組織される当グループ活動で得た内容をきんかん専門部会へも情報の提供や今後の産地を見据えた提案など、産地化が更に進むような取組を今後も推進していきたいと考えている。

